

学校教育目標「自分を創る原里の子」

重点目標「自分事として 学ぶ・考える・行動する」

豊かな人間性 互いの良さを認め合える子

- ・友達や自分の良さに気付く。
- ・気持ちの良いあいさつや返事ができる。
- ・相手を思いやり優しく接する。
- ・前向きな気持ちで学校生活を送る。

健康・体力 目標に向かって運動する子

- ・自分なりの目標に向かって運動する。
- ・健康や安全に気を付けて生活する。
- ・規則正しい生活をする。
- ・黙って掃除をする。

資質・能力の育成 自分で考え学び合う子

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・問いを持ち、主体的に考える。
- ・自分の考えを伝え、友達と関わりながら自分の考えを深める。
- ・学習したことを生かす。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・学んだことを生かし新しい問いを主体的に考えようとしている。
- ・協働的、対話的な学習を通して、自分の考えを深めている。
- ・学びを振り返り、粘り強く取り組んだり調整したりしている。

《子供の実態》

- ・素直で優しい。
- ・決められたことを頑張る。
- ・自分の考えに自信がない。
- ・説明したり議論したりすることが苦手。

子供の発達をどのように支援するか

○個別最適な学びを支える支援

- ・個に応じたきめ細やかな支援。
- ・興味関心に応じた学習活動。
- ・子供が自分の学びを把握できる支援。
- ・ICTの効果的な活用。

《目指す子供の姿》

- ・主体的に考える子。
- ・友達と学び合う良さを実感する学習集団。
- ・学んだことを生かす子。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・「温かい聴き方・優しい話し方」を身に付ける。
- ・読解力を伸ばす。
- ・自分の学びを調整する力を付ける。
- ・基礎学力をしっかり身に付ける。

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・「温かい聴き方・優しい話し方」を基盤とした話し合い。
- ・学年間のつながりを踏まえた汎用的な読解力指導。
- ・学びのプランを作成し単元の見通しを持つ。

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・校内研修の充実。「聴いて考えてつなげる」授業の展開。「温かい聴き方・優しい話し方」の確実な習得。
- ・学びの連続性を意識した幼保小中の連携。保健室、SC、相談員、支援員との連携。家庭学習の充実。
- ・家庭や地域との情報共有。ICTの効果的な活用。SSSや学校支援ボランティアとの協働。
- ・教師が子供と向き合う時間の確保。

《安心・安全を守る》

- ・万全の安全対策(施設・設備・衛生)
- ・認め合い安心して過ごせる教室(互いに認め合う関係づくり)

《開かれた学校づくり》

- ・学校、家庭、地域との連携と情報共有
- ・原里型コミュニティスクールの推進(地域ボランティアとの連携)